

## 地域文化財総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	大阪府・四條畷市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	四條畷市文化遺産総合活用推進事業	【計画の改善時期】 平成30年度	
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 32 年度		
5 実施計画の概要			
<p>本市の教育振興ビジョン（平成31年3月改訂）や文化芸術振興計画（平成28年度策定）を踏まえて、本市の重要な財産である多種多様な有形・無形の歴史的文化遗产について、市民がこれらに触れ、理解を深める機会の創出に努めることにより、郷土愛および郷土の誇りを育むとともに、本市の風土の中で生まれ、受け継がれてきた伝統芸能、伝統行事を次世代に引き継いでいく後継者の育成とその保存、継承に取り組んでいくため、実行委員会を中心とした事業に協力していく。</p>			
6 実施体制			
<p>四條畷市が、本実施計画に係る全体の企画・調整や補助事業に係る指導等を行う。主な担当課、役割は、教育委員会生涯学習推進課：補助事業における文化財の取扱等に関する指導調整等、市民生活部地域協働課：普及啓発事業への支援等 また、補助事業は次の団体が実施する。 四條畷「だんじり」「蒲団太鼓」連合会（会長：木村勲夫）。 事業終了後は、教育委員会生涯学習推進課と実行委員会で事業実績の評価を行い、文化芸術振興計画を改訂していくなかで反映していく。</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成30年度交付決定額： 25,581 千円	平成31年度申請額： 7,887 千円
(2) 実施事業の概要		別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>市民の地域の文化遺産に対する関心や意識が向上し、地域の文化遺産の保存と次世代への継承とともに地域の活性化が期待できるとともに、『四條畷「だんじり」「蒲団太鼓」連合会』への参加する市内の各地車保存団体の増加が、将来的に市全体の地車保存団体が結集した伝統文化を継承していく事業が期待できる。また市内外からの来訪者の増加ににともない「四條畷市総合戦略」で市主催観光イベントの目標としている（平成31年度3,000人）にも寄与することが期待できるとともに、これまで交流の少なかった市内外の祭礼保存団体との連携が期待できる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：			
事業概要：			
事業概要：			
11 「文化財保存活用地域計画」の作成・認定や「文化財保存活用大綱」の策定、「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
現在のところ、財政・人員の面からこれらの策定の予定はない。			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	四條畷市教育委員会 教育部 生涯学習推進課		

## 7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分1:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分1:	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標1:	東中野地区の秋の禮大祭への参加者増加			関連事業:	①	
目標値1:	【現状値】 平成 28 年度 130 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 160 人					
設定根拠1:	平成28年度までの参加者数が130人前後であったことから30人前後の増加を設定					
進捗状況1:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
130 人	140 人	150 人	人	人	人	
0%	33%	67%				
目標区分2:	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分2:	その他 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標2:	四條畷「だんじり」「蒲団太鼓」連合会の構成団体の増加			関連事業:	②・④	
目標値2:	【現状値】 平成 28 年度 7 団体 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 10 団体					
設定根拠2:	市内各地区で実施している祭礼行事を広域で実施することにより継承体制を維持・確立していくため、連合会への参加団体を平成32年度までに10団体と設定。					
進捗状況2:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
7 団体	7 団体	7 団体	団体	団体	団体	
0%	0%	0%				
目標区分3:	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分3:	地域の祭礼行事等への入込客数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標3:	砂地区の秋の禮大祭への参加者増加			関連事業:	③	
目標値3:	【現状値】 平成 30 年度 100 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 110 人					
設定根拠3:	平成30年度までの参加者数が100人前後であったことから10人前後の増加を設定					
進捗状況3:	各年度, 状況値, 目標に対する達成率					
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
人	人	100 人	人	人	人	
		0%				

## 8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	東中野地区山車復元修復事業					実施団体：	四條畷「だんじり」「蒲団太鼓」連合会				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 30 年度				
事業概要：	東中野地区の秋の禮大祭に使用する山車が経年劣化により安全な曳行に支障があるため復元修理を行うと伴に修理現場の公開を行う。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	平成28年度までの参加者数が130人前後であった参加者数										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 130 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 160 人										
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率										
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
130 人	140 人	150 人	人	人	人						
0%	33%	67%									
事業②：	東中野地区山車修復記録作成事業					実施団体：	四條畷「だんじり」「蒲団太鼓」連合会				
事業区分：	記録作成					事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 30 年度				
事業概要：	明治23年製作の堺型の山車の復元修復作業を映像記録し、市内の小中学校や図書館をはじめ、府下の図書館に配布して広く見ていただくことにより、伝統文化の継承意識の向上や本市の禮大祭のPRを行うことにより地域活性化を図る。										
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し(又は利用)回数等					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	市内の小中学校や図書館をはじめ府下150件の図書館へ配布する東中野山車の修理工程記録映像を見ていただくことにより、伝統文化の継承意識の向上と市内外への広報活動を行う。平成32年度までに各年12回の閲覧・貸出回数を目標とする。										
目標値：	【現状値】 平成 28 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 1,800 回										
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率										
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
回	1 回	回	回	回	回						
	0%										
事業③：	砂地区山車復元修復事業					実施団体：	四條畷「だんじり」「蒲団太鼓」連合会)				
事業区分：	用具等整備					事業期間：	平成 31 年度 ～ 平成 32 年度				
事業概要：	明治時代製作の北河内型の山車が経年劣化により安全な曳行に支障があるため復元修理を行うと伴に修理現場の公開を行う。										
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数					(具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標：	平成30年度までの参加者数が100人前後であった参加者数										
目標値：	【現状値】 平成 30 年度 100 人 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 110 人										
進捗状況：	各年度, 状況値, 目標に対する達成率										
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度						
人	人	100 人	人	人	人						
		0%									

事業④：	砂地区山車修復記録作成事業			実施団体：	四條畷「だんじり」「蒲団太鼓」連合会	
事業区分：	記録作成			事業期間：	平成 31 年度 ～ 平成 32 年度	
事業概要：	明治製作の北河内型の山車の復元修復作業を映像記録し、市内の小中学校や図書館に配布するとともに、普及版映像をインターネット上で公開して広く見ていただくことにより、伝統文化の継承意識の向上や本市の禮大祭のPRを行うことにより地域活性化を図る。					
評価指標区分：	・記録映像の貸し出し（又は利用）回数等				（具体的な指標は次のとおり）	
具体的な指標：	市内の小中学校や図書館へ記録映像を配布するとともに、普及版映像をインターネット上で公開し見ていただくことにより、伝統文化の継承意識の向上と市内外への広報活動を行う。平成32年度までにインターネットの再生回数200回を目標とする。					
目標値：	【現状値】 平成 31 年度 0 回 ⇒ 【目標値】 平成 32 年度 200 回					
進捗状況：	各年度，状況値，目標に対する達成率					
平成 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	
回	回	回	回	回	回	